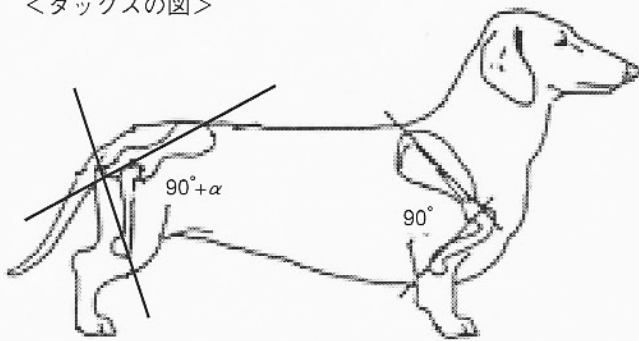
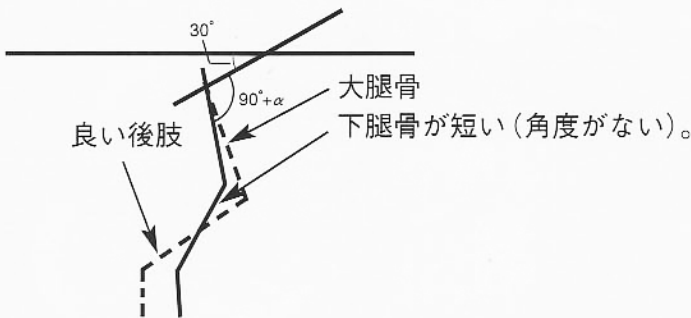


<悪いバランス>

<ダックスの図>



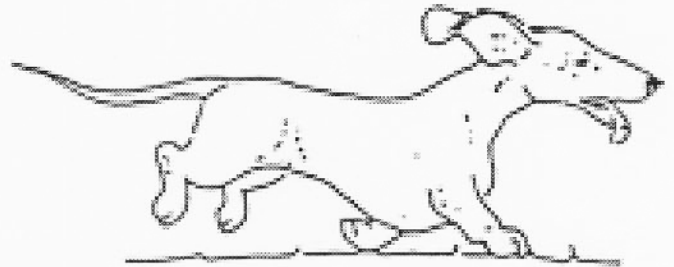
◎後肢の歩幅が前肢の歩幅よりも狭くなる。
寛骨の角度は正しいがひざの角度がない。



(歩幅が狭い)

(歩幅が大きい)

前肢に後肢が追いつかない



後肢は駆ける

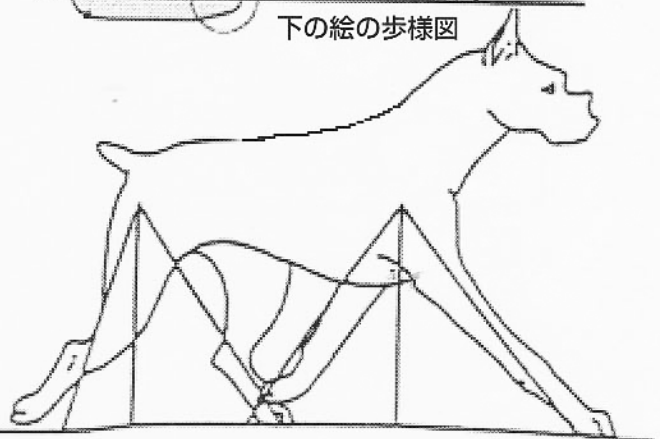
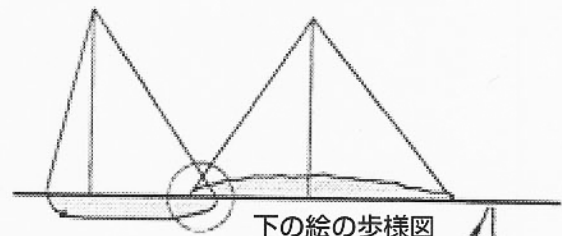
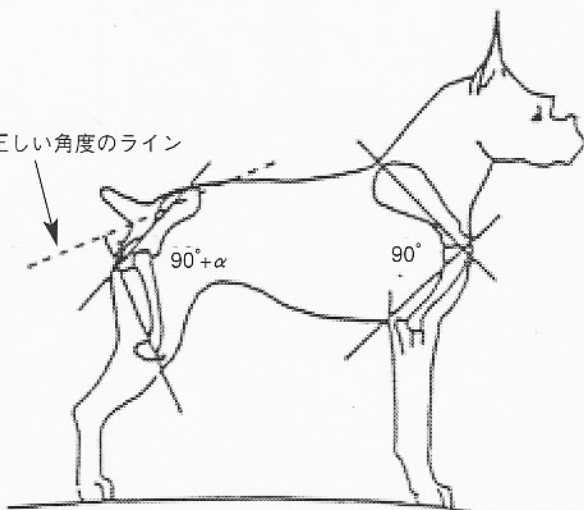
前肢は歩き

<短脚犬種>

例：ダックスフンド
スコッチテリア

*一般的な犬種は、歩くときに前肢よりも後肢の方が力を出す割合が多い。
しかし、ダックスフンドやスコッチテリアなどは、前肢の方が多くの役目をする。
そのため、後肢のアンギュレーションがたりないと、前肢の歩幅に対して後肢の歩幅が
少ないので、上記のような動きになる。

正しい角度のライン



斜尻…後肢の踏み込みが深い。後肢が前肢を追い越すため、
オーバー・リーチになってしまう。